

未来への招待状

30/7/2026

令和8年度学校説明会

千葉市立千葉高等学校

スーパーサイエンスハイスクール指定校

令和7年度 産業イノベーション人材育成等に資する高等学校等教育改革推進事業指定校



A

B



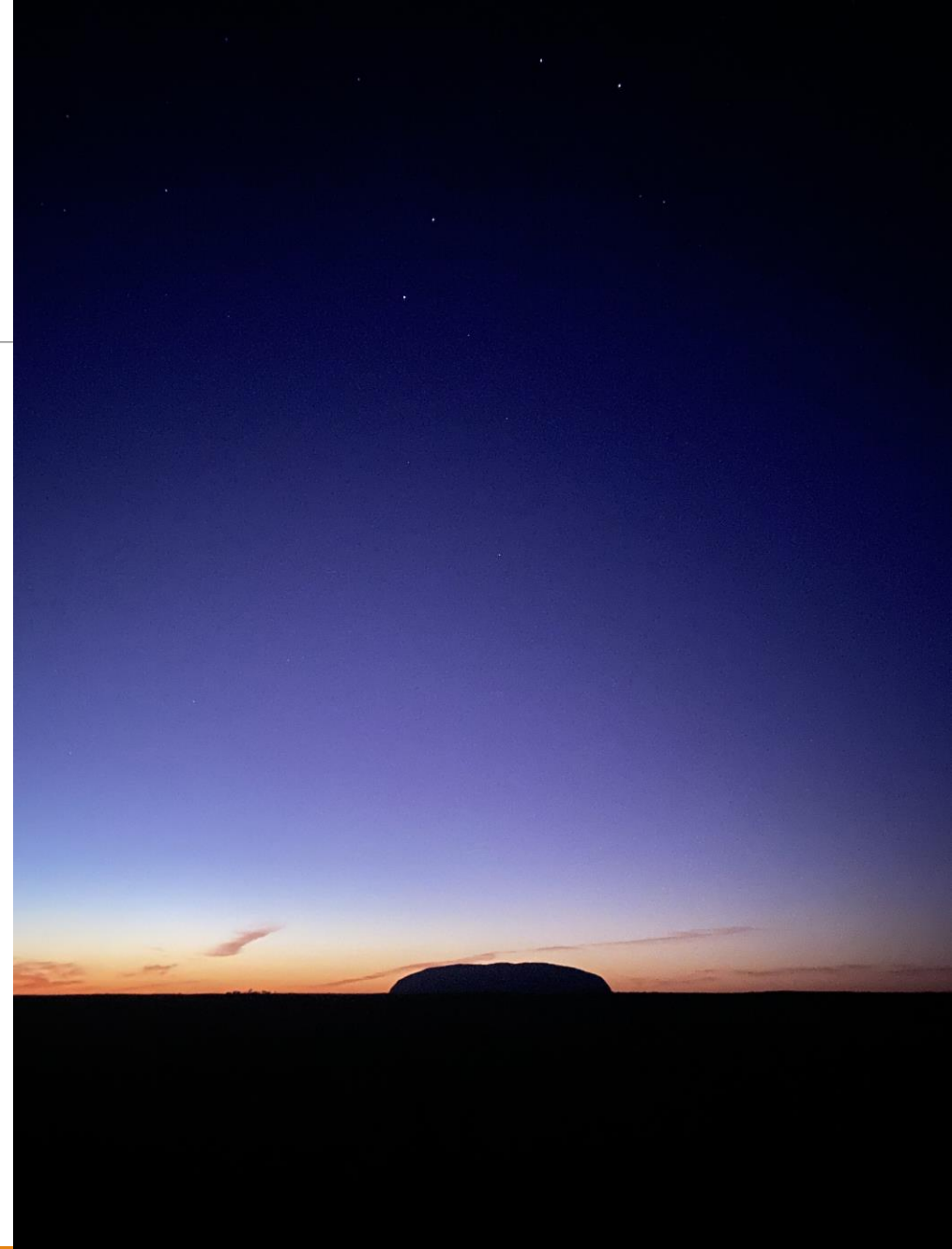
Which do you think is more 'nature?'

Why?



C

D



Which do you think is more 'nature?'

Why?

Welcome to 市立千葉高等学校！

1 スーパーサイエンスハイスクール

2 ネクストハイスクール

3 期待する生徒像

SSH: 第Ⅳ期5年目(通算20年目)

千葉県的高等学校で
最も歴史があります！

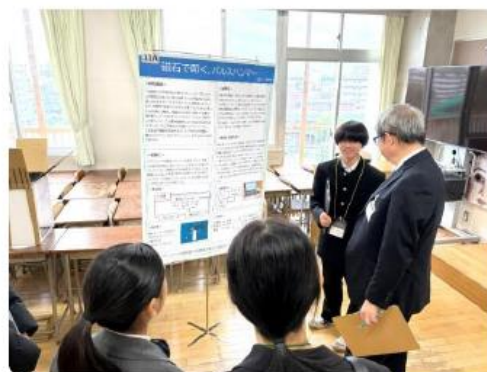


SSH: 理数探究

	1 年次	2 年次	3 年次
理数科	理数探究（1 単位） テーマ設定	理数探究（1 単位） 課題研究	理数探究（2 単位） 課題研究の深化
普通科SSHコース	総探（1 単位） 千葉市 × SDGs	理数探究（2 単位） テーマ設定・課題研究	理数探究（2 単位） 課題研究の深化



千葉大学高校生理学研究発表会



CCSS Fair 2025
(教室で実施)



千葉県高等学校課題研究発表会

1. スーパーサイエンスハイスクール

SSH:フィールドワーク(野外実習)

	フィールドワーク	実施場所	普通科 普通コース	普通科 SSHコース	理数科
	Field Study	(伊豆大島)			●
5月	地学基礎実習講座	(勝浦・鴨川)		●	
	生物基礎実習講座	(君津)		●	
7月	SS-Science Camp I	(茨城・筑波)	●	●	●
8月	SS-Science Camp II	(立山黒部)		●	
10月	SS-Field Study	(アメリカ)			●
12月	SS-Science Camp III	(九州)	●	●	

※令和7年度より熱中症予防の観点から基礎実習講座を5月に実施

●: 1年次 ●: 2年次



ヨセミテ国立公園(カリフォルニア州)

1. スーパーサイエンスハイスクール

高校教育改革の「改革先導拠点」校

文系・理系を問わず、すべての生徒が、

問いを立て、

証拠に基づいて考え、

他者に説明し、

社会に働きかける力

を持つようにする

高等学校教育改革促進基金の創設 ～N-E.X.T. (ネクスト) ハイスクール構想～

令和7年度補正予算額 (案)

2,955億円



※N-E.X.T. (ネクスト) ハイスクールとは、New Education, New Excellence, New Transformation of High Schools の略である。

「強い経済」を実現する総合経済対策 (令和7年11月21日 閣議決定) 抜粋

第2章 「強い日本経済実現」に向けた具体的施策 第1節 生活の安全保障・物価高への対応 (6) 公教育の再生・教育無償化への対応 (教育無償化への対応)

いわゆる高校無償化と併せて公立高校や専門高校等への支援の拡充を図るため、政党間の合意に基づき、安定財源を確保した上で、交付金等の新たな財政支援の仕組みを構築することを前提に、国から2025年度中に提示される「高校教育改革に関するグランドデザイン 2040 (仮称)」に沿った緊急性のある取組等について、都道府県に達成する基金等により先行的に支援する。

- 課題
- 2040年には、産業構造や社会システムの変化を踏まえた労働力需給ギャップにより、地域の経済社会を支えるエッセンシャルワーカーの圧倒的不足、いわゆる理系人材の不足が懸念されるところであり、産業イノベーション人材の育成が重要。
 - 少子高齢化、生産年齢人口の減少、地方の過疎化が一層深刻化 (2040年には高校1年生が約36%減少)。現状でも約64%の市区町村において公立高校の立地が0又は1であることなどを踏まえ、地理的アクセスを踏まえた多様な学びの確保が重要。

①産業イノベーション人材育成等に資する高等学校教育改革促進事業 令和7年度補正予算額 (案) 2,950億円 支援期間: 3年程度

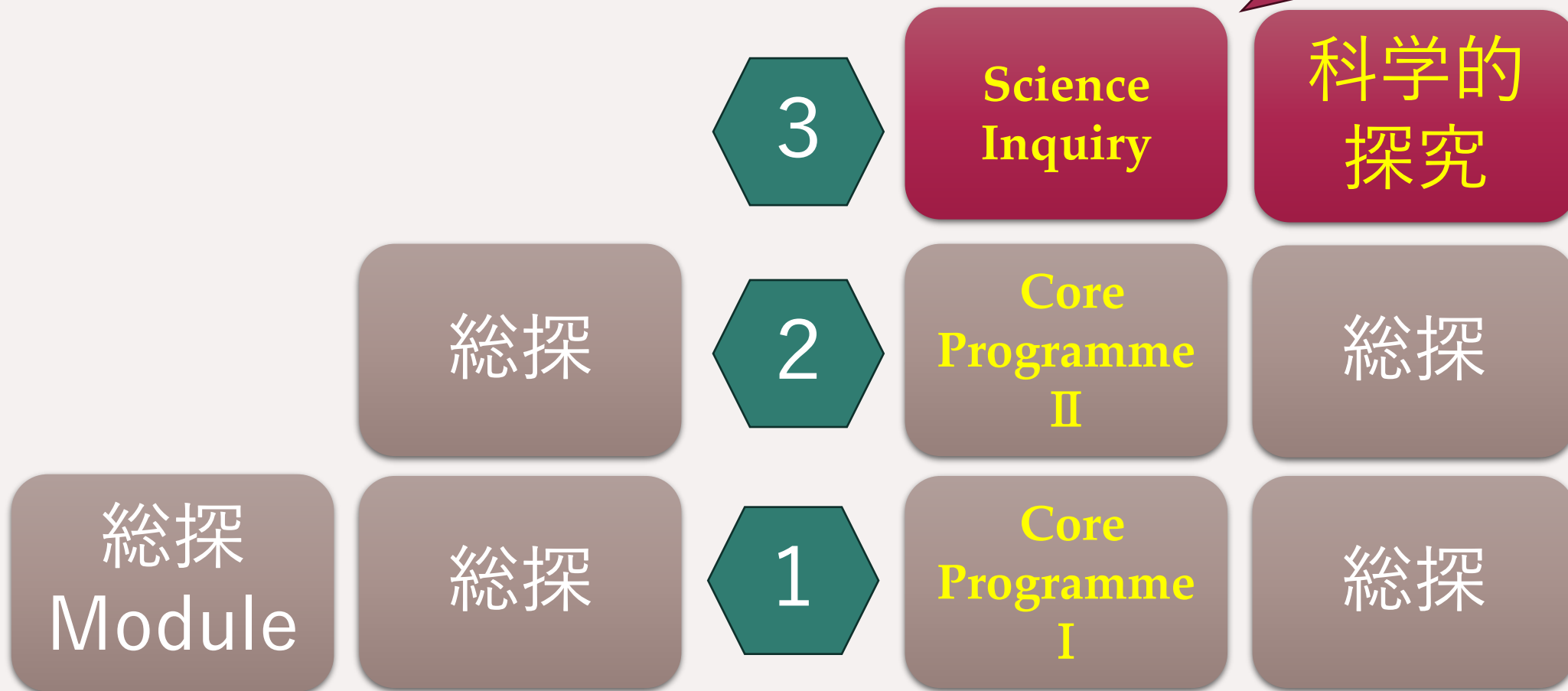
各都道府県に基金を設置し、類型に応じた
高校教育改革を先導する拠点のパイロットケースを創出し、取組・成果を域内の高校に普及する。

事業内容	改革先導校の類型	内取		
		アドバンス・エッセンシャルワーカー等育成支援	理数系人材育成支援	多様な学習ニーズに対応した教育機会の確保
		□ 地域産業や社会・生活基盤を支える分野において、新技術を活用し、生産性の向上・高付加価値化の実現が求められている。 □ 技術革新のスピードが加速する時代に適した課題解決能力の獲得に向け、探究的・実践的な学びの積み重ねや深まりのある学びを実現する。	□ 未来成長分野においては、理系高等教育への進学者の割合の増加、高等教育での実践的な教育が求められている。 □ 先進的な新たな知を生み出す力を育成するため、理数素養を身に付けつつ、自ら問いを立て、解決する研究を行う高等教育を見据えた文理融合の学びを実現する。	□ 少子化への対応においては、生徒の地理的アクセスの確保を図ることに留意しつつ、多様な人間関係の中で得られる学びを踏まえれば、一定の生徒数の規模を確保した学びを提供することが必要。 □ 人口減少地域に、魅力ある学びの選択肢を増やすため、地域の教育資源を活かした学びや遠隔授業を活用した学びの提供を実現する。
		学ぶ意欲のある高校生が、家庭の経済状況に左右されことなく、学習習慣の定着、学習時間の増加、学びへ向かう姿勢の確立ができるよう、放課後等を活用し、学校と地域の連携による学力向上・学習支援のための取組、探究活動の深化による多様な進路に向けた支援を行う。		

2. ネクスト・ハイスクール

総合探究3単位→6単位

理数科や普通科理系SSHコース
選択者のように文系3年生でも総
探を学べる選択肢



普通科科学的探究モデル Cross×Science Model

〇〇 × サイエンス探究

テーマ選択

(4カテゴリー)

- STEAM (理数探究)
- 芸術・生活・スポーツ (部活動)
- 社会課題解決 (千葉市SDGs)
- My好奇心

個性的な興味関心分野歓迎！
釣り、ガウディ、トイレ etc.

共通プロセス

(Core Programme)

- 問い設定
- 仮説構築
- データ収集
- 分析
- 修正・再検証



3年間の流れ

- 1年：探究基礎・問い設定
- 2年：方法論深化、データ蓄積、検証から論文作成
- 3年：実装・社会発信・論文発表、総合型選抜準備

Core Programmeの目標

3

研究論文の発表＋英語による発信力の育成

2

Thinkerの育成＋英語による発信力の育成

1

Thinkerの育成（探究基礎スキルの獲得）

NEXUS HALL

(探究・接続・発信
の中核拠点)
【既存のホールを改修】

NEXUS HALL (後方より)

発表・配信・議論を一体化したハイブリッドホール。
大型スクリーン、プロジェクター、ラインアレイスピーカー、
照明・音響設備を備え、リアルとオンラインの
双方向交流を実現します。
左右対称のアカデミックな空間で、
国際会議や講演会、研究発表にも対応します。



NEXUS HALL (前方より)

正面のステージから後方を望むと、
全面の壁面は音響・遮音設計とした不透明壁とし、
その裏側にDXラボ・ワークステーションを
配置しています。
2階はウェルカムスペースと会議室が見渡せ、
国際会議や交流の場としても活用できます。



DX ステーション

(高度データ分析・発信拠点)

【既存の第2コンピューター室を改修】

DXステーション (全体イメージ)

グループでの探究・分析・創造・発信を支える次世代ラーニングスペース。ICT・解析機器・スタジオ機能を一体化し、データサイエンスからプレゼン・発信までシームレスに活動できます。

可動式モニター・ホワイトボード
ワイヤレスで簡単に共有・書き込み

小スタジオ (グリーン)

動画撮影・配信・プレゼン発信が可能

グループワークエリア (約4人×6~7グループ)
レイアウト変更が容易で自由な協働が可能

ハイスpekPC・解析機器エリア
データ解析・シミュレーション・AI活用

DXステーション (別アングル)

最新のICT環境と多様な機器を備え、探究・分析・制作・発信を自由に行える空間です。
小スタジオや大型モニターを活用し、学びの成果をすぐに表現・共有できます。

大型ホワイトボード+プロジェクター
授業・ワークショップ・発表に最適

可動式モニター・ホワイトボード
ワイヤレスで簡単に共有・書き込み

ハイスpekPC・解析機器エリア
データ解析・シミュレーション・AI活用

グループワークエリア (約4人×6~7グループ)
レイアウト変更が容易で自由な協働が可能

機材・ツール収納
すぐに使える環境で効率的に活動

期待する生徒像

Curiosity

好奇心旺盛で

Passion!

情熱をもって

Better Future

よりよい未来を創る

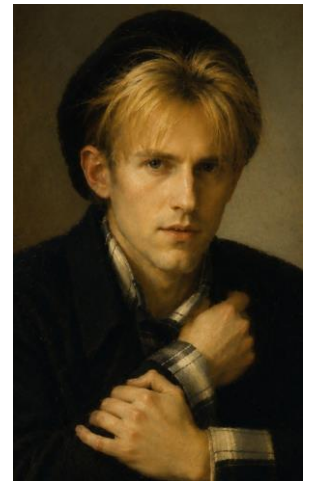
My Passion

Don't crack up.
Bend your brain.
See both sides.
Throw off your mental chains.

New Song (1983)

くじけるな
思考を柔らかくし
物事を多面的にとらえ
固定観念から自分を解き放て

Howard Jones



Thank you !



千葉市立千葉高等学校 学校紹介～2026～



千葉市立千葉高等学校
CHIBA MUNICIPAL CHIBA HIGH SCHOOL

1 学校の概要

校訓・沿革

校訓 ■ 強く・明るく・より高く

沿革 ■ 昭和34 (1959) 年 開校
■ 昭和45 (1970) 年 理数科開設
■ 平成19 (2007) 年 単位制導入
■ 平成20 (2008) 年 新校舎竣工

■ 現在 普通科 21学級 理数科 3学級

在籍生徒 及び 通学区域(学区)

普通科

834名 (7学級×3学年)

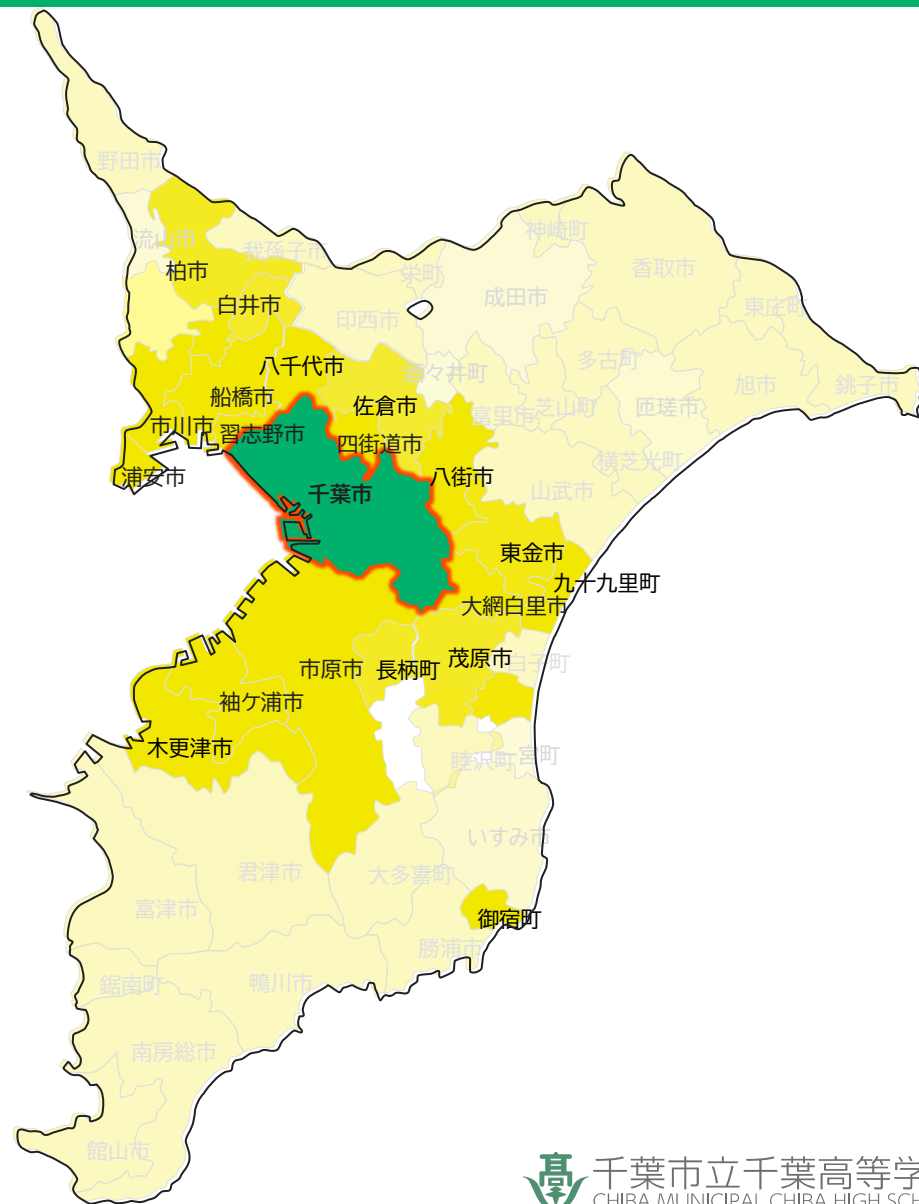
千葉市内全域

理数科

119名 (1学級×3学年)

千葉県内全域

遠方では、御宿町、長柄町、九十九里町



学校全景

至園生小

正門

R7エアコン
設置

通用門

体育館棟

小中台中

弓道場

テニス
コート

管理・特別教室棟

普通教室棟

柔・剣道場棟

上グラウンド

南門

下グラウンド

中央広場

6

シンボルツリーの大クスノキ

屋上プール



講義室・ゼミ室

少人数授業や多彩な選択科目を展開

多目的ホール 320人(1学年収容可能)



図書室



談話室



約6万冊の蔵書と充実した自習スペース

2 市立千葉の教育

1日の生活

■ 月・水・金は**7時間授業**（火・木は6時間授業）

➤ 50分授業 週33時間授業

■ 登校時間（朝のSHR） **8:35**

➤ 1限 開始 **8:45**

➤ 6限 終了 **15:10**（火・木）

➤ 7限 終了 **16:10**（月・水・金）

市立千葉の部活動

- 7限終了後の限られた時間で効率的な練習
- 完全下校 **午後7時**
- 練習時間 平日2時間程度、休日3時間程度
- 部活動加入率 **約90%以上**

部活動 令和8年度 実績

陸上競技部 女子混成競技
関東大会出場 3年女子

柔道部(相撲競技)
関東大会出場

水泳部(水球)
関東大会出場



文学部・棋道同好会・物理化学部
全国総文祭出場



進学重視型単位制

■ 多彩な選択科目

- 普通科 3年次：32単位中の17単位分が選択科目
- 学習計画を自分で決めることができる

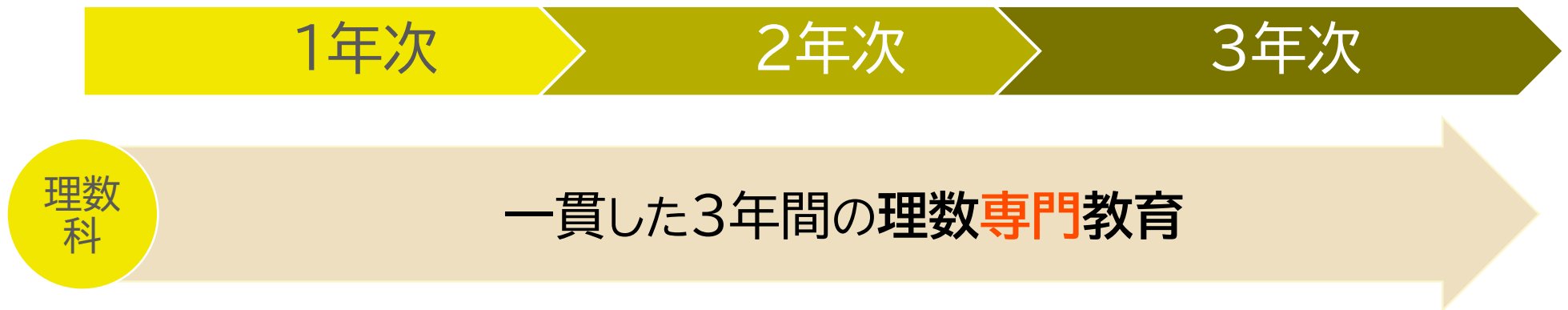
■ きめ細やかな習熟度別授業/少人数授業

教育課程

普通科



理数科



理数科 Field Study



1年次5月
伊豆大島2泊3日研修



2年次10月
アメリカ 5泊7日研修

SS-Science Camp



SS-Science Camp I
1年次希望者
茨城・筑波2泊3日研修



SS-Science Camp II
普通科SSHコース2年次希望者
立山黒部3泊4日研修



SS-Science Camp III
普通科2年次希望者
九州2泊3日研修

世界へ羽ばたく科学者チャレンジ(WSC)プログラム

20



羽田空港集合



校長室での歓迎会の様子

WSC1 韓国来日の様子(6月10日～14日)



共同研究テーマ設定

- ・茶道体験
- ・浴衣着付け体験
- ・英語授業への参加
- ・国立科学博物館訪問

分野融合型授業

22

複数の教科の視点から事象を解析します

書道Ⅰ × 地学
～「硯と墨の関係性について」～

大学との連携

■ 学校外の学修（High school On Campus）

- 放課後、千葉大学で大学生と講義を受けることができます

対象 2・3年次生

講座例 「文化人類学」
 「実験で体験する物理」

■ 外部連携講座

- 大学や研究機関と連携して様々な講座を実施しています

SSH 第Ⅳ期 5年目を迎えて

I 「分野融合型人材育成」に向けた教育課程の深化と普及

II 課題研究の先進的指導法とエビデンスのある評価法の確立と普及

III フィールドワークの開発及び指導法の継承

夾竹桃祭 7月10日(金)11日(土)実施予定



書道
パフォーマンス



今年の
ポスター



最優秀賞
3年A組
「妖怪
ウォッチ」

教育相談体制



- SC 週2回(木・金)
- 面談週間 年3回
- カウンセリングルーム
- 通級指導教室



3 入学者選抜について

幅広い分野について興味・関心を有し、次のア～ウのすべてを満たす生徒

- ア 学習成績が特に優れており、かつ、入学後も学習に高い向上心をもって取り組むことができること。
- イ 他者の考えを的確に理解し、かつ、自分の考えを明確に発信できる力をもつこと。
- ウ スポーツ活動・文化活動・生徒会活動・ボランティア活動等に積極的に取り組む意思があること。

理数分野に強く興味・関心を有し、次のア～ウのすべてを満たす生徒

- ア 学習成績が特に優れており、かつ、入学後も学習に高い向上心をもって取り組むことができること。
- イ 他者の考えを的確に理解し、かつ、自分の考えを明確に発信できる力をもつこと。
- ウ スポーツ活動・文化活動・生徒会活動・ボランティア活動等に積極的に取り組む意思があること。

普通科 一般入学者選抜 志願倍率の推移

	定員	受検者数	倍率
R5年度	280	478	1.71
R6年度	280	424	1.51
R7年度	280	415	1.49
R8年度	280	430	1.54

理数科 一般入学者選抜志願倍率の推移

	定員	受検者数	倍率
R5年度	40	68	1.70
R6年度	40	70	1.75
R7年度	40	71	1.80
R8年度	40	69	1.73

4（参考） 令和8年2月に実施した 入学者選抜の評価方法

令和8年2月に実施した入学者選抜 評価方法

(1) 学力検査

5教科の得点合計
普通科、理数科ともに
500点満点で評価する。

令和8年2月に実施した入学者選抜 評価方法

(2)調査書

ア 学習の記録

9教科、5段階、3か年分

$$9 \times 5 \times 3 = \underline{135\text{点満点}}$$

令和8年2月に実施した入学者選抜 評価方法

(3) 調査書

ウ 特別活動、部活動の記録及び特記事項

生徒会活動、部活動等における顕著な実績、資格等について点数化して加点する。

→ 最大15点

令和7年2月に実施した入学者選抜 評価方法

(4)学校設定検査 作文

10点満点 2日目の午後50分間で実施

※なお、今年度の学校設定検査の内容について
変更する予定はありません。

令和8年2月に実施した入学者選抜 評価方法

(1) 学力検査	500点
(2) 調査書(学習の記録)	135点
(3) 調査書(特記事項等)	15点
(4) 作文	10点
合計	660点

普通科、理数科ともに同じ評価方法です。

5 卒業後の進路

進路状況(令和8年3月卒)

進学率 83.1%

大学合格者数 ※()内は令和7年度

内訳	現役	既卒	合計
国公立大学	86 ₍₇₀₎	9 ₍₉₎	95 ₍₇₉₎
私立大学	1122 ₍₁₀₄₇₎	79 ₍₉₄₎	1208 ₍₁₁₄₁₎

今春の主な合格者数

国公立大学(現役 & 既卒)

※()内は昨年度の結果

千葉大	52 ⁽³⁹⁾	御茶の水大	2 ⁽¹⁾	埼玉大	1 ⁽²⁾
一橋大	2 ⁽⁰⁾	東北大	4 ⁽²⁾	東京学芸大	1 ⁽²⁾
千葉県立 保健医療大	7 ⁽³⁾	東京海洋大	2 ⁽¹⁾	福島県立医 大	1 ⁽⁰⁾
北海道大	2 ⁽¹⁾	宇都宮大	2 ⁽⁰⁾	名古屋大	1 ⁽¹⁾
茨城大	2 ⁽⁵⁾	東京都立大	2 ⁽²⁾	名古屋市立 大(医学科)	1 ⁽⁰⁾
筑波大	1 ⁽²⁾	信州大	2 ⁽¹⁾	横浜市立大	2 ⁽¹⁾

今春の主な合格者数

私立大学(現役 & 既卒) ※()内は昨年度の結果

早稲田大	37 ⁽²¹⁾	青山学院大	18 ⁽²⁵⁾
慶應義塾大	8 ⁽⁸⁾	立教大	58 ⁽⁵²⁾
上智大	17 ⁽¹⁰⁾	中央大	32 ⁽⁴⁷⁾
東京理科大	60 ⁽⁶²⁾	法政大	89 ⁽⁹²⁾
明治大	74 ⁽⁶¹⁾	学習院大	29 ⁽¹⁸⁾



 043-251-6245

 <http://www.ich.ed.jp/>

本校の部活動と学校行事について

生徒会指導部

2026年7月30日

部・同好会 部員数（令和8年7月現在）

1年	2年	3年	合計
305名	325名	318名	948名
(95%)	(102%)	(99%)	(99%)

運動系

576名

文化系

372名

- 部・同好会 加入率9割以上
- 多様な部活動の在り方が求められている

【運動系】

陸上競技、バレーボール、野球、ソフトテニス、
バスケットボール、サッカー、ソフトボール、
バドミントン、卓球、柔道、剣道、山岳、水泳、
弓道、テニス、ダンス（計 16）

【文化系】

文学、物理化学、生物、地学、美術、書道、合唱、吹奏楽、
写真、演劇、茶道、華道、パソコン研究、料理、
棋道同好会、軽音楽同好会（計 16）

例年 7 月に開催 夾竹桃祭

令和8年度
テーマ「夢幻泡影～青春の2日間～」
一般公開日
来場者数 3 8 2 1 名



様々な学校行事

春スポーツ大会(5月)



秋スポーツ大会(9月)



合唱コンクール(11月)



生徒会主体の学校行事



対面式(4月)
部活動紹介(4月)
生徒総会(6月)



「生徒会は学校の全生徒をもって組織されている」



千葉市立千葉高等学校

令和 8 年度学校説明会

本校のSSHの取組

SSH推進部

Super Science High school スーパーサイエンスハイスクール

先進的な理数教育を実施するとともに，高大接続の在り方について大学との共同研究や，国際性を育むための取組を推進します。また，創造性，独創性を高める指導方法，教材の開発等の取組を実施します。

令和8年度は文部科学省から

基礎枠年間 7 5 0 万円 × 5 年間 (Ⅳ期 5 年目)

重点枠年間 7 0 0 万円 × 3 年間 + 5 8 3 万円 × 1 年間 (Ⅳ期 4 年目)

I SSHコース

II 分野融合型授業

III 課題研究

IV フィールドワーク

V 外部連携講座

VI 海外連携

I SSHコースの教育課程

4

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
1 年 次	現代の 国語		言語 文化		地理 総合		歴史 総合		数学Ⅰ			数学A		物理 基礎		化学 基礎		体育			保健	音楽Ⅰ 美術Ⅰ 書道Ⅰ	英語 コミュⅠ			論理・ 表現Ⅰ		情報Ⅰ		総合 探究		LHR	
2 年 次	公共		数学Ⅱ			数学B		生物 基礎		地学 基礎		化学 研究α		体育		保健	英語 コミュⅡ			論理・ 表現Ⅱ		家庭 基礎		SS-国語α			理数 探究		ANS	LHR			
3 年 次	政治 経済		体育					英語 コミュⅢ			論理・ 表現Ⅲ		数学C			数学Ⅲ			化学			物理 生物 地学			SS-国語β			理数 探究		LHR			

普通科に入学した生徒も…

高1の科目選択調査にて高2からSSHコースを選択できる

- ✓ 物化生地4科目に興味のある生徒
- ✓ 理数探究（課題研究）に興味のある生徒
- ✓ フィールドワークに興味のある生徒

お待ちしております

Ⅱ 分野融合型授業

5

分野融合型授業のさらなる普及と再開発

令和7年度の実践 * 16テーマ68講座の一部抜粋

学年	科・コース	実施科目	担当者	連携科目	担当者	単元・内容	授業目的別分類			実施日	実施クラス数
							発見型	解決型	体験型		
1	全選択	音楽Ⅰ	長谷川	数学	坂本	十二平均律における周波数	○			10/10	8
1	全選択	書道Ⅰ	新井	地学	山田 松田	硯と墨の関係性について	○		○	9/5	8
1	全選択	美術Ⅰ	藤井	化学	加藤 三瓶他	絵の具の特徴を知ろう	○		○	6/13	8
1	理数	Crossover ScienceⅠ	松岡	地理	小関	大島から見る持続可能性		○		4/24	1
2	理数	SS-Science CampⅠ	松岡	地理	三島	なぜ鹿島に工業地帯ができたのか		○		7/7	1
2	S S H	Advanced Natural Science	三坂	地理	小関	フォッサマグナと富山・新潟の地理的条件と産業		○		6/12	1



	1 年次	2 年次	3 年次
理数科	理数探究（1 単位） テーマ設定	理数探究（1 単位） 課題研究	理数探究（2 単位） 課題研究の深化
普通科SSHコース	総探（2 単位）	理数探究（2 単位） テーマ設定・課題研究	理数探究（2 単位） 課題研究の深化



千葉大学高校生理学研究発表会



CCSS Fair 2025



千葉県高等学校課題研究発表会

IV フィールドワーク

7

フィールドワーク		実施場所	普通科 普通コース	普通科 SSHコース	理数科
5 月	Field Study	(伊豆大島)			●
	地学基礎実習講座	(勝浦・鴨川)		●	
	生物基礎実習講座	(君津)		●	
7 月	SS-Science Camp I	(茨城・筑波)	●	●	●
8 月	SS-Science Camp II	(立山黒部)		●	
10 月	SS-Field Study	(アメリカ)			●

● : 1 年次 ● : 2 年次

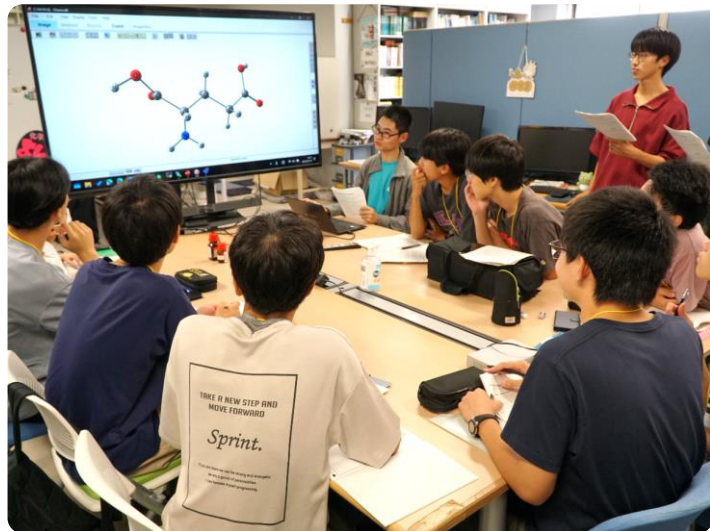
全生徒対象

○SS-Science Camp I

1 年次希望者

茨城・筑波 2 泊 3 日研修

SSHコースの体験
フィールドワークの位置づけ



茨城大学水戸キャンパス



高エネルギー加速器研究機構KEK



日本製鉄鹿島工場

理数科対象

○Field Study

理数科 1 年次

伊豆大島 2 泊 3 日研修



○SS-Field Study

理数科 2 年次

アメリカ 5 泊 7 日研修



SSHコース対象

- 野外実習基礎講座（地学）
普通科SSHコース2年次
勝浦・鴨川日帰り研修



- 野外実習基礎講座（生物）
普通科SSHコース2年次
君津日帰り研修



- SS-Science Camp II
普通科SSHコース2年次希望者
立山黒部3泊4日研修



V 外部連携講座

11

臨海実習講座



統計学講座



セラミックス講座



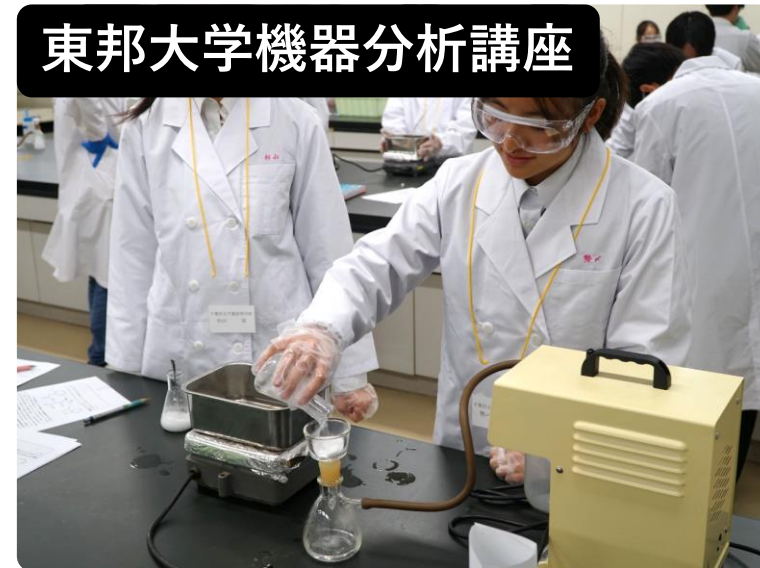
千葉大学機器分析講座



低温科学講座



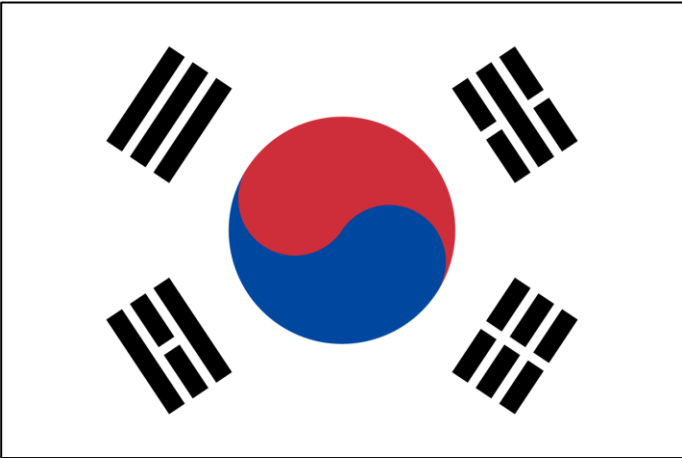
東邦大学機器分析講座



韓国 蔚山科学高等学校との連携

ウルサン

- 令和 8 年度 of 取組
 - 海外科学共同研究（グループ）
 - 科学英語力養成講座
 - I E L T S 講座
 - 科学英語コミュニケーション講座
 - 課題研究基礎講座



	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月
海外 科学共同研究		オンラインミーティング 科学共同研究準備等			蔚山科学 高校来日	科学共同研究 スライド作成				蔚山科学 高校訪問 共同研究 成果発表会	千葉大学 国際研究 発表会	次年度 テーマ設定
科学英語力 養成講座		I E L T S 講座				科学英語コミュニケーション講座 発表資料作成，発表指導						
課題研究 基礎講座		テーマ設定		科学共同研究 ポスター・スライド作成				中間 報告会	CCSS Fair			

蔚山科学高校来日 6月予定

授業体験
共同研究テーマ設定



蔚山科学高校訪問 1月予定

授業体験の様子
成果発表会の様子



タイ
 チュラロンコン大学附属学校との連携

- 令和 8 年度の取組
- 海外科学共同研究（個人）
 - 外国人留学生による課題研究指導
 - 科学英語力養成講座
 - 科学英語コミュニケーション講座
 - I E L T S 講座



	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月
海外 科学共同研究				科学共同研究 7 月～1 月，オンラインミーティング 9 月～1 2 月 チュラロンコン大学付属学校訪問 8 月							チュラロン コン大学付 属学校来日	まとめ
外国人留学生に よる課題研究指導				研究指導①		研究指導②		研究指導③	研究指導④ CCSS Fair		千葉大学 国際研究 発表会	
科学英語力 養成講座	I E L T S 講座，English Camp 科学英語コミュニケーション講座					I E L T S 講座，ポスター・スライド作成 科学英語コミュニケーション講座						

VI 海外連携

15

チュラロンコン 大学附属学校訪問 8月予定

発表会準備
中間発表会



チュラロンコン 大学附属学校来日 2月予定

授業体験
成果発表会



本校SSH事業に
御協力よろしく願いいたします。

御清聴ありがとうございます。